

私の新入部員時代

51期 桑原風人

現在の活発な活動を続けている理工ボート部の様子をみると、とても感慨深いものがあります。私が入部した当初は部員もほとんどおらず、自艇もなく、借艇もままならず、乗艇する事すら困難な極めて厳しい時期でした。その困難な時期のこと、そこから少しずつ改善していったこと等を将来のメンバーに伝えていくことは重要なことではないかと考え、この投稿のテーマとすることにしました。2012年4月に入学したので、12年前のことになります。理工ボート部にとっては、廃部危機からの再始動を始めたばかりの時期に当たります。

理工ボート部が今後どのような局面を迎えていくかわかりませんが、その時に何かしらの参考になれば幸いです。

私が入部する前の理工ボート部

[参考]桑原が在籍していたころの理工ボート部の変遷

	2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度			
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下		
イベント	▼新中大艇庫完成 古い艇の払い下げ ▼新入部員ゼロ 廃部の検討				▼中杉OBの入部 ▼中杉ボート部支援 の下、夏合宿実施 ▼お花見レガッタに ダブルで出場		▼インカレ ▼50周年記念式典 ▼エルゴ購入 ▼お花見レガッタに フォアで出場		▼理工部屋 での合宿 ▼活動が軌道に乗る		▼ダブルスカル 駿河の購入					
概要	<ul style="list-style-type: none"> この時代のことを桑原は詳しく知らないが、先輩方や監督が部の存続に注力していたと伺っている。 2010年の中大艇庫建て替えが行われた。所有していたイトやフォアは破損しており、かつ修理する予算もなかったため、払い下げになった。 				<ul style="list-style-type: none"> 中杉ボート部の支援の下で活動していた。練習で使用する艇はすべて中杉からの借艇。夏合宿も、中杉ボート部に帯同する形で実施。(2012年～2014年まで) 自立した活動のために必要な、モノ、カネ、ノウハウが足りていなかった。 		<ul style="list-style-type: none"> インカレに出場したことを機に、OBさんらが動いてくれた。50周年式典で集まった資金は、校内用エルゴと、後に購入する駿河に当てられた。→ローイングに打ち込める環境が、徐々に整っていった。 		<ul style="list-style-type: none"> 2015年が、再生理工ボート部元年という印象。この年から、活動に注力する学生が常にいるサークルになった。 単独で夏合宿を実施。(2015年は長沼、2016年は川辺。) 							
部長	稲葉先生				小林先生											
OBOG会長	5期 樋口さん					2期 内藤さん										
主将	48期 櫻井さん	48期 小林さん	49期 福田さん	51期 桑原	53期 重綱さん											
監督	31期 中島さん															

上記は 2010 年～2016 年の沿革を表にまとめたものです。私が入部する前年の 2011 年は、1,2 年生の在籍者がおらず、部員が 48 期小林先輩のみになってしまいます。その年のことは、亜湖さんが季刊誌に書かれているので、そちらをご覧ください。

[亜湖さんの季刊誌リンク→[季刊誌第 7 号 48 期小林さん v1.1.pdf \(weebly.com\)](#)]

その翌年となる 2012 年 4 月に、私の 2 学年先輩である 49 期福田さん、関さん、拜崎さんが、大学 3 年生の 4 月というタイミングで入部をしました。部を存続させるための救済策として、中杉ボート部 OB の中大生を、理工ボート部に招き入れたそうです。福田さんは 55 周年記念誌の中で、中島監督から「好きに漕いで良い」と言われたから入部したという旨の記述をされています。

そんな中杉 OB 中心となった理工ボート部に、51 期の仲田・桑原が加わっていくこととなります。

2012 年 試乗会～前期の活動

私が中央大学に入学した際に、公認サークルの紹介ページがまとめられた冊子を配布されました。その冊子を読んで理工ボート部のページがたまたま目に留まり、試乗会に申し込みをしました。「何か新しいことを始めたい」と思っていた私にとって、理工ボート部が掲載していたキャッチコピーは、私のその気持ちに合致していたと記憶しています。部の状況については何も知らず、試乗会に申し込みました。

4/8(日)に行われた 1 回目の試乗会から私は参加しました。待ち合わせの後楽園 C 3 号館 1 階に 13 時に伺うと、主将の福田さんが現れました。その場で軽く挨拶してから、2 人で戸田公園の中大艇庫に向かいました。

電車での福田さんとの会話は、今でもよく覚えています。福田さんもつい 2 週間前に入部したばかりだったので、理工ボート部がどういう団体で、これからどうなっていくのかは分かっていない様子でした。それでも会話が楽しくて、もし入部してくれたら理工ボート部と一緒に作っていきみたいな話になっていたと思います。あとは、福田さんの高校時代(中杉ボート部)のことや、福田さんご自身のことをお伺いし、少しずつローイングについての興味を持つことができました。

艇庫に到着すると、中杉ボート部の試乗会がすでに始まっていました。私は高校 1 年生に混ぜてもらう形で、付クォド（東京オリンピックで使用された Hollywood という木製艇）の 3 番に乗って、戸田コースを 1 周しました。ストロークは福田さん、バウは関令央さん(福田さんの同期)、COX は中杉ボート部の 2 年生だったと思います(誰だったかまでは覚えていない)。中杉ボート部が想像より大所帯だったので、そこに圧倒されたことの方が、乗艇よりも印象に残っています。

試乗会後は、福田さん、関令央さんと3人で戸田公園駅にあるポポラマーマに行きました。そこでの会話はあまり覚えていないですが、そのお食事中に、理工ボート部に入部する意向を私はお伝えしました。

翌週の4/15(日)は、他大学との合同試乗会でした。現役の理科大ボート部の選手とお会いしたのは、この日が最初で最後です。中島監督、同期の仲田と初めて会ったのもこの日だと思います。修士1年だった櫻井さんも参加されていたことや、荒川に出ているエイトに乗せてもらったこと、東工大の1年生と会話したことなどを覚えています。

しかし、その後の3か月間ほどは、全くと言っていいほど何も活動ができませんでした。できなかった原因はいくつかあったと思いますが、大きな要因の一つに『自艇を所有していなかったこと』が挙げられると思います。私が入部する2年前に中大艇庫の建て替えがあり、故障で使えなくなっていた古い艇は払い下げになったと伺っています。なので、理工ボート部が乗艇練習をするためには、中杉など他団体から艇を借りるしか方法がありませんでした。中杉ボート部にとってもこの時期は、インターハイ予選に焦点を当てた活動をしており、自校の1年生にも乗艇させないような状況だったと思います。その中で、土日に理工ボート部に艇を貸す余地はなかったのだと思います。相模湖や鶴見川で漕ぐこともできたと思いますが、戸田以外に漕げる環境があることを当時の私は認識していませんでした。

関東理工系レガッタ開催の話はありましたが、2010年～2012年の3年間は出漕応募数が少ないことを理由に実施されませんでした。私の大学1年前期は、トータル3,4回しか乗艇できず、大会に出ることもできませんでした。

2012年7月 OBOG 新歓

そんな殆ど活動できていなかった前期においても、私がとてもインスピレーションを受けたイベントがあります。初めてのOBOG 新歓です。当時は新宿にある三平というお店で行われていました。(※2013年も三平開催でしたが、その翌年はお店の移転等が理由で開催できなくなったと記憶しています。)

いま幹事会でお世話になっている山下さん、40期小林修一さんらと二次会に行きま



2012年納会の写真 @三平

した。小林亜湖さん、櫻井さん、同期の仲田もいたと思います。それぞれの現役時代の話を中心に伺いました。いずれも部員が少なかった時代に活動してきた方々ですが、ボート部の話には充実感が満ちていて、私もその場が楽しかったです。思いを持った先輩方と間近に接することができて、ボート部に対するモチベーションを一段階上げることができました。

2012年8月 夏合宿や隅田川レガッタの出場

夏休み入ると、中杉の練習のない日に何度か乗艇練習を行いました。回数としては計5回くらいだったので、今と比べるとかなり少ないです。それでも、福田さんたちがダブルスカルの練習の面倒を見てくれて、とても充実していた記憶があります。

8月12日(日)に、隅田川レガッタという500mの市民レースにエイトで出場しました。これが、仲田と私にとってのデビュー戦です。亜湖さん、仲田、桑原、福田さんと、福田さんが集めてきた中杉ボート部OB5名(令央さんや拜崎さんら)で構成された即興クルーでした。2艇による並べレースでしたが、私が腹切りしてしまい勝負にはなりませんでした…。それでも、早慶レガッタゴール付近で漕ぐことができたこと、エイトをうまく漕ぐことは難しいと実感できたことは、貴重な経験でした。



腹切り後に取り残されている様子…



7番福田さん、5番仲田、4番桑原、3番亜湖さん

夏合宿も、中杉の合宿に帯同させてもらう形で実施しました。場所は富山県五箇山にある桂湖ビジターセンターです。2005年に長良川で行われた世界選手権の直前合宿が複数のナショナルチームで行われていた影響もあってか、艇はとても充実していました。関東からの車移動だけで丸1日かかり、漕艇場と宿舍の移動でも車が必要でしたが、それ以外に関して文句のつけようのない環境だったと思い



桂湖ビジターセンター

ます。

1 番の思い出は、乗艇最終日に行われた中杉レガッタです。仲田・桑原のダブルも出場させて頂き、中杉の1年女子ダブルと対戦したのですが、真っ直ぐ漕ぐことができず完敗しました。高校生から、僕たちのことがどう見えているのか考えると、非常に恥ずかしかったです。

それでも、中杉 OB ではないという点でアウェーである仲田・桑原を歓迎し、過ごしやすい環境を作ってくれた福田さん、中杉ボート部顧問の山田先生らには、今でも感謝の思いがあります。

次回予告

充実した8月を送ったものの、9月になると福田さんが学科の実習で忙しくなり、仲田も趣味でやっている格闘技で怪我をさせていただきます。私にとっては、一緒に活動してくれる部員が誰もいない状況です。そんな9月以降のお話は、「私の主将時代」として、次回の季刊誌に投稿したいと思います。

※おまけ

この季刊誌で使用されている写真は全て、中島監督が撮影されたものです。桂湖など、遠くまでも足を運んでくださりありがとうございました。

大学入学時の私はスマートフォンを持っていなかった(ガラケーだった)ので、自分で撮った写真は殆ど残っていませんでした。そんなところも今との時代の違いを感じます。